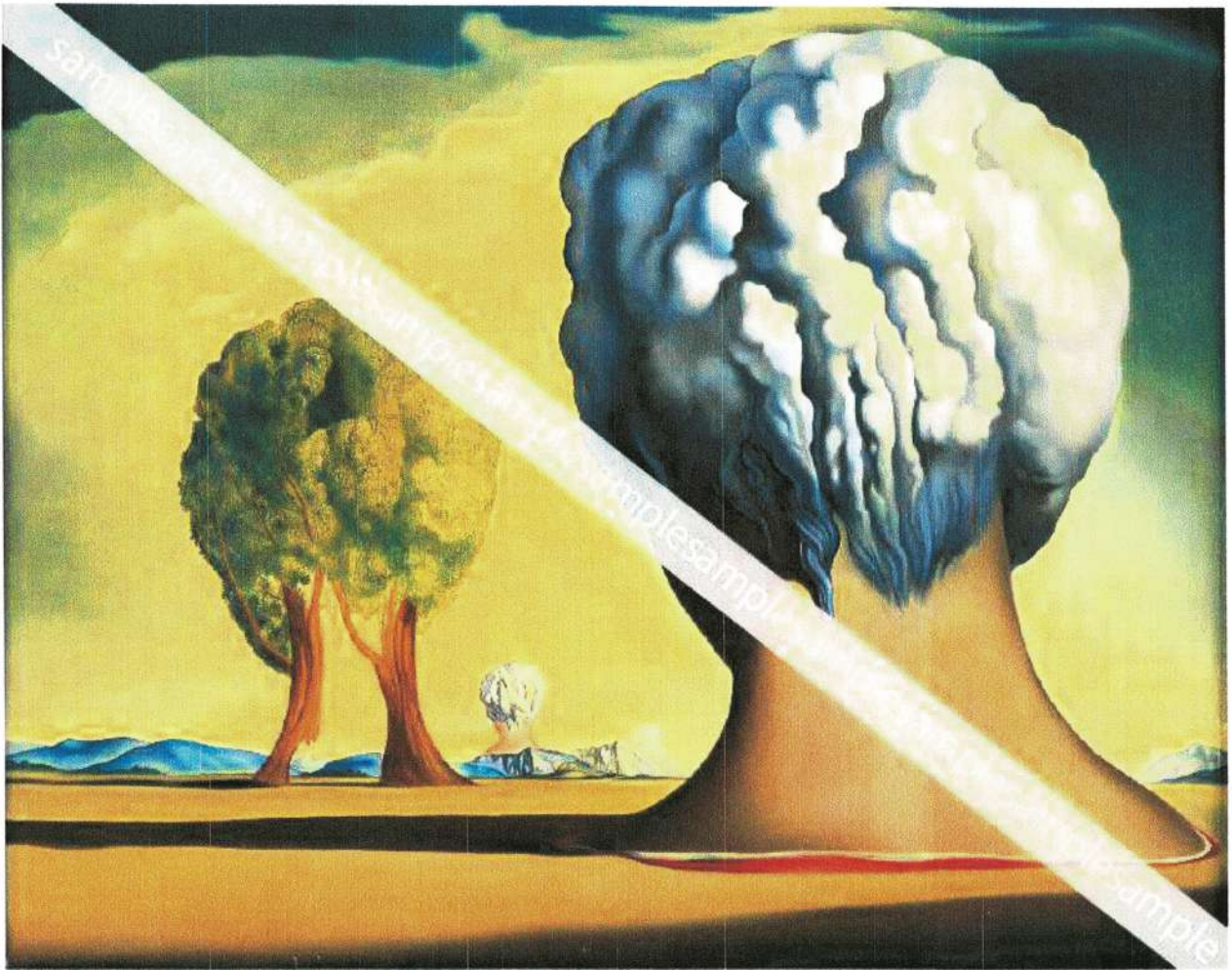


三重県立美術館
PRESS RELEASE 2020.12

SHOCK OF DALÍ

ショック・オブ・ダリ
——サルバドール・ダリと日本の前衛
Salvador Dalí and Japanese Avant-Garde



1、サルバドール・ダリ《ビキニの3つのスフィンクス》
1947年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵

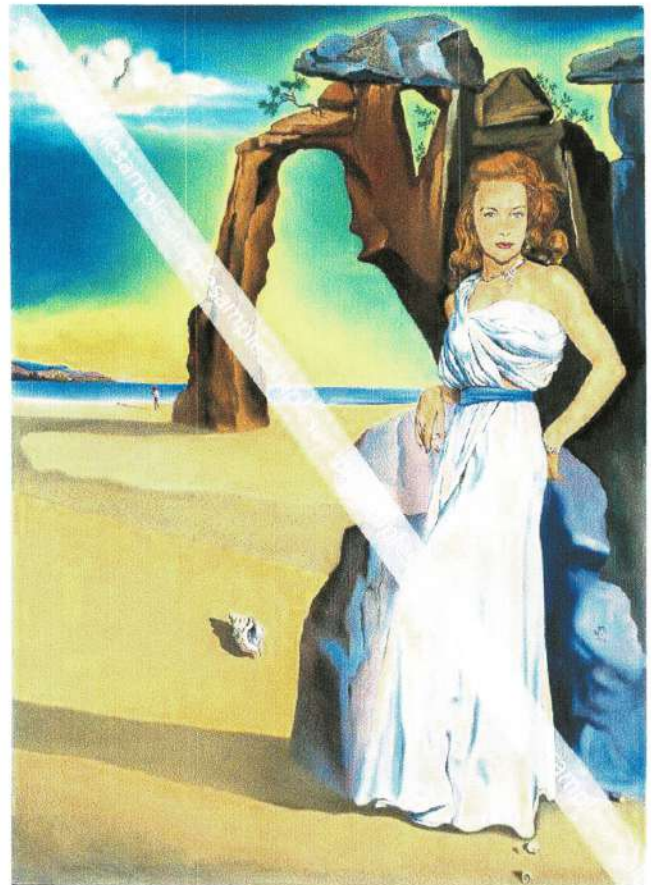
2021年1月9日(土)ー3月28日(日)

展覧会について

スペイン人芸術家サルバドール・ダリ(1904-1989)は、20世紀を代表する画家のひとりです。1920年代末にシュルレアリスム(超現実主義)運動に参加し、精緻な写実描写技術をもって、潜在意識に由来する妄想を描出する独自の作風を築き、シュルレアリスムの造形芸術に新たな局面を開きました。その作品はヨーロッパにとどまらず、世界中で知られるようになります。

日本でもまた、ダリ作品は大きな衝撃を与えました。とりわけ日本の若い前衛画家たちへの影響は著しく、1930年代にダリ作品が本格的に紹介されると、急速にその影響が彼らの作品に現れます。彼らは各々の感受性をもってダリの芸術を吸収し、独創的な作品を生み出しました。

本展では日本最大のダリ・コレクションを誇る諸橋近代美術館の所蔵作品を中心としたダリの魅惑的な絵画作品をご覧いただくとともに、ダリの衝撃を最初に受け、それを自らの創作に生かした日本の画家たちの表現もご紹介します。ダリおよび日本の前衛画家たちの作品が見せる、奇想に富んだ魅力的な絵画世界をご堪能ください。



2、サルバドール・ダリ《アン・ウッドワード夫人の肖像》
1953年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵

展示構成と見どころ

1章 サルバドール・ダリの世界

諸橋近代美術館のコレクションを中心に約 30 点のダリ作品が一堂に会します。会場では、貴重な初期作品から、ダリ作品を代表する技法であるダブルイメージ(二重像)が用いられた傑作《ビキニの 3 つのスフィンクス》、だまし絵的な手法をもって描かれた独特な肖像画《アン・ウッドワード夫人の肖像》、そして 1950 年代に科学と宗教を融合させた核神秘主義時代の作品までダリの多様な作品をご覧ください。初期から晩年に至るダリの傑作が一会場に集まるこの貴重な機会に、その魅力あふれる幻想的な絵画世界をお楽しみください。

2章 ダリは日本にどう知られたか？

ダリ作品がどのようにして日本に紹介されたのか、文献資料を基に解き明かしていきます。日本におけるダリ受容は 1930 年代に始まりました。会場では、初めてダリを本格的に紹介した瀧口修造の記事「サルヴァドル・ダリと非合理性の絵画」が掲載された 1936 年の『みづゑ』誌や 1939 年に発刊された日本初のダリ画集、そしてポール・エリュアールから山中散生に送られた、ダリの手による非常に貴重なデッサンまでご覧ください。これらの資料は、ダリの芸術、および日本の前衛画家たちによるダリ受容を一考する、またとない機会を提供してくれることとなるでしょう。

3章 日本の前衛——影響の広がりとなんだな絵画言語の探求

1939 年、美術評論家の瀧口修造は、「ダリの影響が一部の若い作家の間に、不可視な光線のやうに迅速に伝播した」と記しています。事実、ダリ作品が紹介された 1930 年代、その影響たるやすさまじく、多くの日本人前衛画家たちが自身の作品に、ダリ作品を思わせるような荒野の風景や地平線、歪んだモチーフを描きいれるようになりました。しかし、彼らは単なるダリの模倣者になることはありませんでした。それぞれが独自の感性でダリ作品を吸収し、独創的な作品を生み出したのです。本展では 25 人の日本人画家による約 50 点の作品を紹介します。それらにはいずれも画家たちの個性が色濃く反映され、ダリとは一風変わった作品世界を私たちに見せてくれます。

展覧会概要

SHOCK OF DALÍ ショック・オブ・ダリ —サルバドール・ダリと日本の前衛

会期:2021年1月9日(土)~3月28日(日)

主催:三重県立美術館、中日新聞社

特別協力:公益財団法人諸橋近代美術館

助成:公益財団法人三重県立美術館協力会

会場:三重県立美術館 企画展示室

開館時間:9:30-17:00(入館は16:30まで)

休館日:月曜日(2021年1月11日は開館)、1月12日(火)

観覧料:一般1,000(800)円/学生800(600)円/高校生以下無料

* ()内は前売りおよび20名様以上の団体割引料金

*この料金で「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。

*障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

*教育活動の一環として県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

*家庭の日(1月17日(日)、2月21日(日)、3月21日(日))は団体割引料金でご覧いただけます。

*主な前売り券発売所:チケットぴあ、サークルKサンクス、セブン-イレブン他

巡回:諸橋近代美術館

2021年4月24日(土)~6月27日(日)

※一部出品作品が異なります

3、北脇昇《変生像(鏡相学シリーズ)》
1938年 京都市美術館蔵



関連イベント

○記念講演会

・「サルバドール・ダリと日本」

日時:1月30日(土)14:00-15:30

講師:速水豊

(本展企画者、三重県立美術館館長)

場所:三重県立美術館講堂

定員:40名/参加費無料

・「彼らはダリの何に惹かれたのか」

日時:2月27日(土)14:00-15:30

講師:大谷省吾

(東京国立近代美術館美術課長)

場所:三重県立美術館講堂

定員:40名/参加費無料

[講演会への参加方法]

講演会当日の午前11時よりインフォメーションにて整理券を配布します。時間になりましたら、整理券を持って会場にお越しください。

○担当学芸員によるスライド・トーク

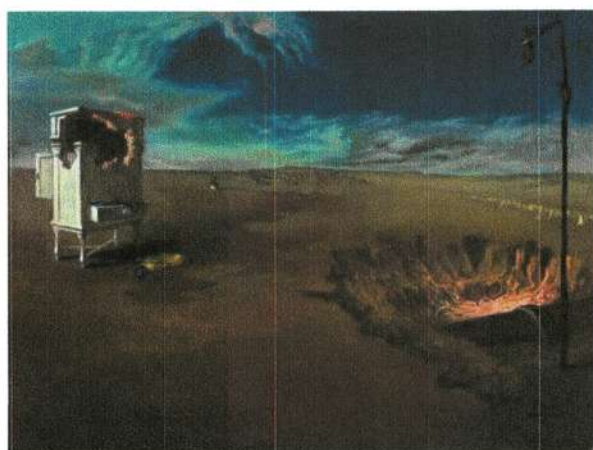
日時:1月16日(土)、2月13日(土)、3月6日(土)

いずれも14:00-14:30頃

場所:三重県立美術館講堂

定員:40名/参加費無料(直接講堂にお越しください。)

担当学芸員が、展覧会の見どころをお話しします。



4、浜田浜雄《予感》
1937年頃 米沢市上杉博物館蔵



5、浅原清隆《多感な地上》
1939年 東京国立近代美術館蔵

広報用画像

広報画像申請用紙

ファクシミリをご利用の方は、ご希望の画像に✓を入れ、申請者情報を記入し、下記の宛先にお送りください。あるいは、申請者情報と画像番号を Email でお送りください。受付後、JPEG または TIFF の画像データとキャプションのテキストデータを Email にてお送りします。

ご所属／	担当者氏名／
掲載媒体／	
電話番号／	メールアドレス／

1、サルバドール・ダリ《ビキニの 3 つのスフィンクス》1947 年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵
©Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2020 C3342

2、サルバドール・ダリ《アン・ウッドワード夫人の肖像》1953 年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵
©Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2020 C3342

3、北脇昇《変生像(観相学シリーズ)》1938 年 京都市美術館蔵

4、浜田浜雄《予感》1937 年頃 米沢市上杉博物館蔵

5、浅原清隆《多感な地上》1939 年 東京国立近代美術館蔵

◎掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプション(作家名、作品名、所蔵先等)を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字載せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を 2 部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

※ダリの作品画像利用に関しましては《ビキニの 3 つのスフィンクス》と《アン・ウッドワード夫人の肖像》をご使用可能ですが、プレスパックの適用となりますので、一般社団法人日本美術著作権協会(JASPAR)の規定に従いまして、寸法 50 平方センチメートル以下、展覧会紹介文 400 字以内としていただきます。また、雑誌や新聞での使用のみとさせていただきます(ウェブ掲載不可)。

.....
お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 坂本龍太(さかもと・りゅうた)、原舞子(はら・まいこ)

TEL:059-227-2100(代表) / FAX: 059-223-0570

Email:sakamr03@pref.mie.lg.jp (坂本) haram02@pref.mie.lg.jp (原)